

うれしいたのしい大好き久玉

「つなぐ」8号でお知らせした久玉地区コミュニティ・スクールの7学期の活動が、6月に入り、一気に本格化しました。

子どもたちの学習に、地域の方に入っていたらと、こんなにも楽

しくなるのか、またこんなにも充実するのか、と見ていて、改めて思っています。ホームページに「久玉のたからものは子どもたちと地域のみなさま」と書きましたが、本当にそうだと思います。



栽培体験

6/9(木)

5年総合「芋植え」

四方田さん、野中さん、そして緊急対応で坂田さんにお世話になりました。



稲作体験

6/17(金)5年総合「田植え」

江良さんにコーディネートいただき、松下さん、上さん方大変お世話になりました。最初は稲作インタビューだけだったのに、「体験せんとわからん」と田植えを経験させていただきました。



6/9(木)1年生活「町探検」

江良(春)さん、江良(安)さんにお世話になり、人生初の町探検に出かけました。



校外学習補助



栽培体験

5/13(金)2年生活「ばんかん狩り」

この時点ではコミュニティ・スクールではなかったのですが、ばんかん狩りに行きました。江良(春)さん、江良(安)さん、四方田さんにお世話になりました。

6/16(木)4年書写「左右」

山下さん、坂田さん、矢田さん、金棒さんにお世話になりました。手を取っての愛ある指導をいただきました。



毛筆補助



町の歴史

6/10(金)3年総合「久玉川探検」

片白さんにお世話になりました。久玉川の水神様を見に行き、その後、河童伝説を話していただきました。週末に坂田さん宅に、カッパの証文を見せてもらいに行った子がいます。

まさに「授業は終わっても学習は終わらない！」すばらしいですね。

6/17(金)6年図画工作「糸のこ作業」

図工でティッシュボックスを作りました。板を考えたデザインに沿って電動糸のこで切りわけていきました。江良(春)さん、津端さんにお世話になりました。個別対応ありがとうございました。



作業補助



読み聞かせ



【田植えの感想】

私は、田植えはじいちゃんの田んぼでやったことがあります。

田植え体験をして学んだことがあります。それは、協力をしないとできないということです。なぜなら、ひもを動かす時に声をかけ合わないとか動かせないし、なえを渡す人がいないと植えられません。だから協力は大切だと思いました。今は機械などで苗を植えています。まだ機械が無かった昔はとても大変だったと思います。

私は毎日食べる米は田植えをするたびにこんなに作るのに時間がかかるのだなあと思いが、いつも植えています。なので、いつも感謝をして食べることを心がけようと思います。

6/8、22(金)

全学年「読み聞かせ」

ずっとお世話になっている「読み聞かせボランティア」です。今年度は、月2回、業間に読み聞かせに来ていただきます。

保護者ボランティアを募集しています。チャレンジしてみませんか？



Bigriver's tweet～校長室より～

熊本県地方が梅雨入り宣言されたのが6月前半でした。ここに来ての集中豪雨で、地震に続き、熊本県内に大きな被害が出ていることに心が痛みます。

一日も早い復興を願ってやみません。

内の原地区では6月26日(日)に地区住民が総力を上げて「虫追い祭り」を実施されます。虫追い祭りは、太鼓と笹の音で水田の虫を追い払い、その年の豊作を願う祭りで、300年前から続いているそうです。内の原地区の伝統行事として現在も地域の人たちによって大切に守られています。当日は小学生も参加して、豊作を願い、男子は太鼓踊りを、女子は笹の葉踊りを元気いっぱい披露するそうです。

豊作を願うのはもちろんですが、地域の伝統行事が子どもたちに引き継がれ、いつまでも続いていくことを願いたいものです。



メンタルが
変われば
行動が
変わる

いい言葉は
心にひびく